

事例紹介

ふるさと雇用再生
特別基金事業
【観光分野】

事業概要

愛媛県立とべ動物園に、利用無料の案内ガイドを配置し、動物園の魅力を高め、利用者をさらに増加させようとする事業です。
展示動物の案内を通して、命の大切さや環境学習、人と動物の関係について理解を深めることができる魅力ある動物園を目指します。



委託先

財団法人 愛媛県動物園協会
(愛媛県立とべ動物園指定管理者)
職員53人

新たな
雇用創出数

3人

地域雇用失業情勢
(事業開始時点の有効求人倍率)

平成21年6月
愛媛県 0.53倍(季節調整値)
松山管内 0.46倍(原数値)

事業費

約1,420万円(平成21年度)

事業開始

平成21年4月～

業務内容

平成21年6月から、ふるさと雇用再生特別基金事業として、新たに案内ガイド(3名)を雇用。案内ガイドは、動物や施設に関する疑問や質問にお答えしたり、積極的に話しかけたりしながら、来園者一人ひとりの“出会い”“ふれあい”を大切にしています。



○園内は、地理学的配列を中心に10のゾーンに分かれています。ゾーンごとに動物を見ていくと、約180種1000点の世界中の動物に会えます。
○各ゾーンに観察のポイントを記した案内板や学習のための解説パネルなどを設置し、わかりやすく楽しく観ることができるように工夫してきました。

TOBE ZOOLOGICAL PARK OF EHIIME PREF.
愛媛県立とべ動物園
<http://www.tobezoo.com/>

案内ガイド様子



私たちは、まだまだ勉強中ですが、来園者の皆さんの疑問・質問にお応えする仕事をしています。「案内係」の腕章が目印です。たくさんのお客さんと話すことができ、毎日楽しく仕事をしています。

来園者の声から



ガイドさんが、わかりやすく動物の話をしてくれたので、動物がさらに好きになりました。



どんなことでも構いませんので、私たちに気軽に声をかけて下さいね。

展示方法が工夫されているし、ガイドさんが熱心ですね。



園長よりメッセージ

動物園は、動物と人との出会い、ふれあいの場ですが、人と人との出会い、ふれあいを通して、「なぜ?」「どうして?」「なるほど!」「そうなんだ!」という「驚き」と「発見」と「感動」の場もあります。私は、案内ガイドさんに、そのきっかけづくりをしてもらいたいと思っています。
皆さん、今後とも、当園をよろしくお願いします。スタッフ一同、ご来園を心よりお待ちしております。



案内ガイドさんから話しかけてくれたので、気軽に質問できたし、会話も弾み、楽しい時間を過ごせました。

あったかふれあいセンター事業 【高知県】

(フレキシブル支援センター事業)

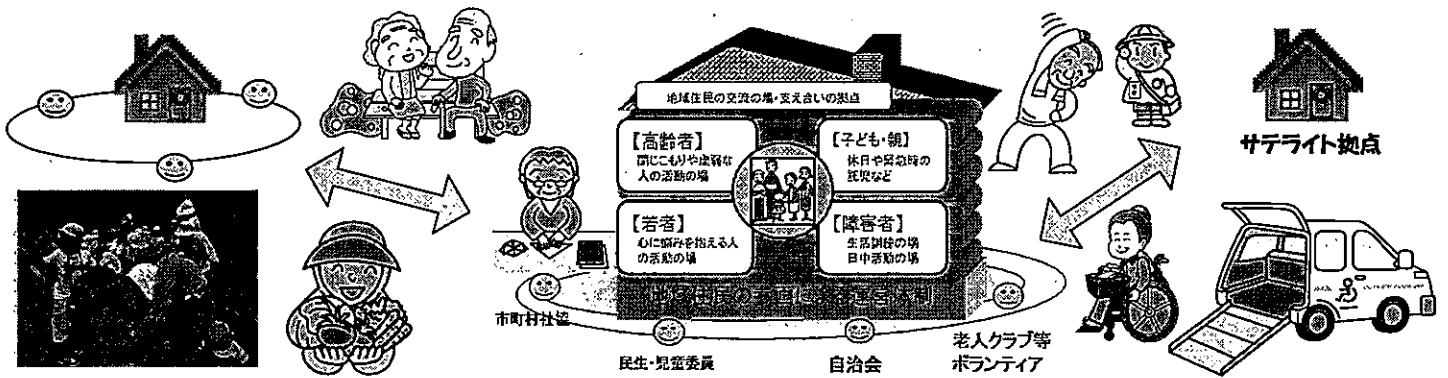
事例紹介

ふるさと雇用再生特別基金事業
【介護・福祉分野】

高知県では、ふるさと雇用再生特別交付金の事例として示された「フレキシブル支援センター」を「あったかふれあいセンター」として事業化し、市町村での設置を促進しています。

本県の実情に即した小規模・多機能なサービスをこのセンターで提供します。

わたしたちの「あったかふれあいセンター」 ～みんなで支えあう新しいカタチ in 香南市～



事業内容

デイサービス事業所を拠点とし、あったかふれあいセンターを併設し、高齢者、児童、障害者等誰もが集い交流を深め、生活支援を行う場を提供する。また、平成22年度より各地区でのサテライト型のあったかふれあい事業を行います。
(H21:香我美地区、H22～:野市、夜須、吉川の3地区でも実施・・・合計4地区)

委託先

香南市社会福祉協議会

事業費

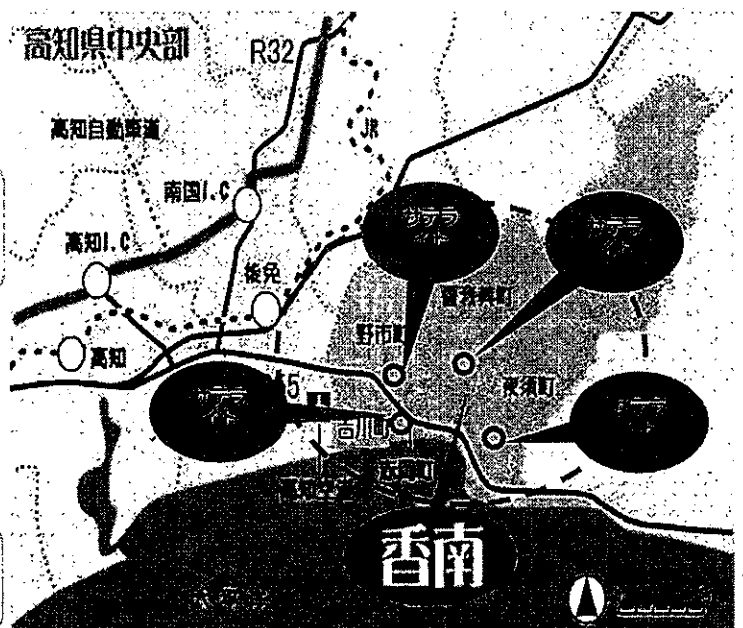
約682万円 (H21)
総事業費 約4千万円
(H21～H23)

新規雇用者数

2名 (H21)
4名 (H22～)

事業実施

香我美地区 平成21年6月～
其他地区 平成22年度から



提供サービス

①【デイサービス機能】

高齢者や障害者、児童等の誰かが集い、介護予防教室の開催や創作活動の実施等、交流できる場を提供します。

②【サテライト機能】

香南市内の4箇所でそれぞれの地域ニーズに即したサービスの提供を行います。

③【移動支援機能】

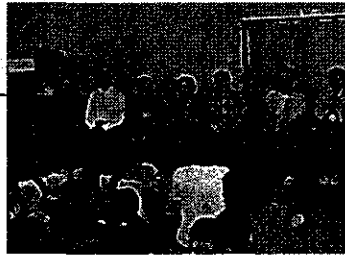
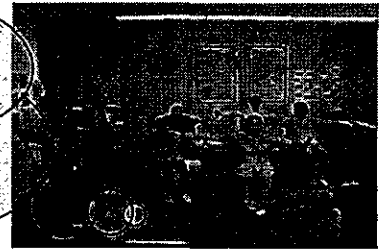
移動手段が困難な利用者へ買い物の送迎を行うことにより、高齢者の自立と生活の質を高めます。

④【地域との交流機能】

高齢者と地域の子どもたちが自然環境の中で種まきから収穫まで畑仕事を通して、互いに親しみ、楽しむ交流の場をつくりまします。

利用者の声

- ・家にいても、テレビを見て、座っているだけなので、ここへきていろんな人と話ができることがうれしい。
- ・体操をしまして、肩が凝らなくなって、夜もぐっすり寝れる。
- ・創作(折紙・ちぎり絵)をこの歳になってするとは思わなかったが楽しい。レクレーションのゲームも楽しい。
- ・ここで、お昼みんなと一緒にごはんを食べると美味しい。



スタッフの声



- ・1人暮らしの高齢者の方は、人と話すことを喜び、楽しんでくれます。また、介護予防にも繋がっていると思います。
- ・地域のボランティアさんが、こんなに積極的に入ってきてくれることに驚き、名前のおりあったかひふれあいを感じています。
- ・利用者の男性は少なく、無口ですが、だんだんと慣れ、周りの人に気遣ったり、会話もするようになってきました。

あったかひふれあいセンターの現状と課題

現在、このあったかひふれあいセンターには、地域の高齢者・障害者・そして、地域のボランティアさんや、幼稚園の園児、民生委員さん等だれでもが集える場所として、一緒に農作物を育てたり、収穫したり、また筋力体操・レクレーション等で高齢者から子どもまで互いに楽しく交流し、そして介護予防にも繋がりが、利用者には大変好評です。今は1地区で実施していますが、来年度はサテライト型で他の地区でも実施したいと思っています。

これからも地域のたくさんの方に知ってもらい、地域住民やボランティアなどを巻き込んだ事業を進めていきたいと思っています。

今後は、地域住民の協力や地域のニーズへの対応などを踏まえた、事業の継続的な実施が課題と考えています。